

埼玉県景気動向指数

2018(平成30)年12月分の概要

平成31年2月28日
埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数（C I 一致指数）は、悪化を示している。

2 指数の動き

- 12月のC Iは、先行指数：93.3、一致指数：116.7、遅行指数：117.7となった。
(平成22年=100)
- 先行指数は、前月と比較して1.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、0.04ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は、0.83ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- 一致指数は、前月と比較して0.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、0.57ポイント下降し、6か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.87ポイント下降し、4か月連続の下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して2.3ポイント下降し、3か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は、1.77ポイント下降し、3か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.69ポイント下降し、2か月連続の下降となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C7: 県百貨店・スーパー販売額	0.63	C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	-0.24
C1: 県生産指数(製造工業)	0.21	C3: 県投資財出荷指数	-0.23
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	0.19	C9: 県耐久消費財出荷指数	-0.17
		C4: 県有効求人倍率(除学卒、就業地別)	-0.04

※ C2：県所定外労働時間指数（調査産業計）及びC8：県生産財出荷指数は、寄与度なし(0.00)。

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

4 一致指数の推移

